

JA自己改革の取り組みに関する報告

○JA加古川南の自己改革の取り組みについて

JAグループは、持続的な地域農業の維持・振興とくらしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業の展開により、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。

JA加古川南の自己改革については、3カ年計画及び単年度計画のなかで、これまでの施策を継続するとともに、地域の実情に合った取り組みを実行してまいりました。

実施課題

農業者の所得向上と農業生産の拡大

重点施策

地元産「ひのひかり」全量買上・全量販売。

↓ 取り組み状況等 ↓

平成28年度 5,337袋
平成29年度 5,831袋
平成30年度 5,435袋

全量買上・全量販売いたしました。



重点施策

ファーマーズ出荷者への
種子・苗の助成。

↓ 取り組み状況等 ↓

平成28年度 種子 延べ89名 苗42名
平成29年度 種子 延べ90名 苗35名
平成30年度 種子 延べ95名 苗38名

多品目の出荷に取り組みました。



重点施策

栽培講習会の開催。

↓ 取り組み状況等 ↓

〈水稲栽培ごよみ講習会〉

平成28年度 延べ166名
平成29年度 延べ116名
平成30年度 延べ106名

〈野菜栽培講習会〉

平成28年度 延べ40名
平成29年度 延べ110名
平成30年度 延べ142名

重点施策

農業機械の更新等による農家負担の軽減。



↓ 取り組み状況等 ↓

平成29年度より貸出用トラクターとフレールモア(雑草粉碎機)を導入し、平成30年度より田植え機、コンバイン、草刈り機各種のレンタル機種を増やし、また、乾燥から粉摺りまで出来る施設も設置しました。

平成29年度 延べ13件
平成30年度 延べ77件

利用がありました。



実施課題

安全・安心で消費者に求められる農産物づくり

重点施策

ファーマーズマーケットを通じた安全・安心で新鮮な野菜の提供。

↓ 取り組み状況等 ↓

〈農薬安全使用講習会〉

平成28年度 延べ126名
平成29年度 延べ121名
平成30年度 延べ142名



重点施策

生産日誌記帳ノートの事前回収および点検。
計画的な残留農薬検査の実施。

↓ 取り組み状況等 ↓

生産日誌の提出率は100%であり、実施した残留農薬検査では全て残留農薬は検出されませんでした。



実施課題

都市農業の振興

重点施策

遊休農地の解消や都市農地の保全。

↓ 取り組み状況等 ↓

貸農園としての農地活用に取り組みました。
(現在、795区画を管理しています。)

アグリサポート事業（農作業受委託支援）により平成30年度は20件の仲介を行いました。

実施課題

経営環境の変化に対応する健全な経営管理態勢の構築

重点施策

改正農協法に対応した経営体制の充実。

↓ 取り組み状況等 ↓

平成29年6月開催の総代会で、改正農協法の理事構成要件を満たした役員を理事定数の過半数選任し、新たな経営執行体制のもと各事業の展開をしています。

実施課題

地域に密着した店舗づくり

重点施策

基幹支所に総合渉外担当者を配置して組合員宅の全戸訪問実施。

↓ 取り組み状況等 ↓

みなさまの声を事業活動に活かすため、4人の総合渉外担当で延べ約6,500軒の組合員宅を訪問して、意見・ご要望をお聞かせいただきました。事業運営に反映できるよう取り組んでまいります。



重点施策

地域の子育て世代を支援するための保育園運営。



↓ 取り組み状況等 ↓

保育園の運営により、子育て支援に取り組んでいます。（くみあい保育園は当初、農家の繁忙期に子供を預かり農作業を支援する目的から始まり、現在では、全国でも数少ない保育事業を行っているJAとなっています。）



重点施策

年金受給世代を支援するため、「年金友の会」会員に対する優遇施策の実施。

↓ 取り組み状況等 ↓

「年金友の会」会員より預かる定期貯金について金利アップを行うとともに、親睦旅行や各種部会活動を支援しています。

